

No. 195

令和5年1月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 ☎(0241)23-3263
HPアドレス <https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行／北塩原村議会 編集／議会広報調査特別委員会

目次

村民の声	2
第8回臨時会	3
第9回定例会	4～6
議会傍聴のすすめ	7
村政を質す(一般質問)	8～17
議会活動報告他	18～20

議会だより

12月定例議会

北塩原村消防団出初め式



新年あけましておめでとうございませう。
日頃より、本村議会に對しまして、温かいご支援、ご協力を賜っておりまこと、心より御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症も第8波に入り、県内においても毎日多くの感染者が発生しております。
このコロナ禍を契機に、都会よりも地方の魅力が再認識され、地方自治体では、特色ある施策の立案が一層重要となります。
今後、執行と議会が共に知恵を絞る、両輪のごとく施策を進めてまいり所存です。
また、村民の方々の協力なくしては、何一つ、解決することは不可能だと思っております。
議員一同が村民の代表であるというその役割と責任を自覚し、村民の皆様のご期待に沿うよう努めてまいりますので、本年も、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
村民の皆様にとりまして幸多き一年でありますようお祈り申し上げます。
新年のご挨拶と



北塩原村議会議長
小 原 真

新年のご挨拶



第9回

村民の声

このコーナーは村民の皆様よりお寄せいただいた声を掲載しています。投稿をご希望の方は、下記の「村民の声」募集要項をご参照ください。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

駅伝への思い

い
が
ら
し
よ
し
た
か
五十嵐 好孝（上川前）



中・高校時代、陸上・駅伝部に所属し、当時の北塩原村駅伝チームにも参加していましたが、まさか自分がそのチームの監督になるとは全く想像が付きませんでした。

指導する側として、何を教え、どう伝えればいいのか、毎年迷うところがあります。コーチの皆さんの支えもあり、選手だったころの経験を元に、何とかチーム作りに励んでいます。

私自身、この福島駅伝に参加して結果を残したいと強く考えているわけではありませんが、確かに、やるからには選手にはいい結果を残させたい、選手もそこを目標にしている

事でしょう。

私は結果より、そこまで行く過程を大切にしてもらいたいのです。挨拶から始まり、辛い練習の日々、一人では出来なくても仲間となら出来る「信頼」「絆」を深め、一人の強い人間として成長してもらう事が一番です。駅伝だけがスポーツじゃなく、駅伝をやったから、これからも続けなきゃいけないと思うことはないと思います。ただ、この福島駅伝に参加して、何か少しでも、きっかけ作りになればいいと思います。きっかけ一つで将来がガラッと変わります。

この北塩原村駅伝チームは、速い子じゃないと入れない、また、選ばれないわけではありませんが、本人のやる気次第、あきらめない気持ちを持って人なら一度は体験させてい。

北塩原村議会広報議会だより 「村民の声」 応募要項

- テーマ：自由（村への要望などは除きます。）
 字数制限：500字以内
 掲載：年4回発行議会だよりへ掲載します。
 選考：議会広報調査特別委員会にて選考・決定します。
 応募方法：投稿文に住所・氏名・電話番号を明記し、本人の写真を添付の上、下記の宛先に郵送または、メールアドレスに送付願います。
 （写真の準備が出来ない場合は撮影に伺います。）
 宛先：〒966-0485
 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 北塩原村議会事務局
 E-mail：gikai01@vill.kitashiobara.fukushima.jp
 （役場本庁、裏磐梯合同庁舎、桧原出張所の窓口にご持参いただいても結構です。）

あ ら ま し

令和4年11月2日、全員協議会および第8回臨時会が1日間の会期で行われました。全員協議会では、『喜多方地方定住自立圏第2期共生ビジョン』並びに、第8回臨時会で審議される『北塩原村きずな応援事業』および、『裏磐梯高原無料シャトルバス』について説明が行われました。

第8回臨時会では、北塩原村一般会計補正予算（第7号）が提出されました。この予算は、『電力・ガス・食料品等価格高騰緊急対策費』、『新型コロナウイルスワクチン接種事業費』、『北塩原村きずな応援事業費』が計上され、全会一致で可決しました。

第 8 回
臨 時 会

（全員協議会）

北塩原村きずな応援事業
（村内企業支援・農業支援・学生支援他）を含む
補正予算

4, 441万円を可決！

議案第53号

北塩原村一般会計補正
予算（第7号）

補正額

4, 441万円

議決

全会一致で可決

電気・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付
金事業

事業費2, 183万円

○主な内容

電力、ガス及び食料品等の生活必需品の価格高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯に対し、1世帯当たり5万円の給付を行うもの。

対象者 ①令和4年度住民税（均等割）非課税世帯

②家計急変世帯（予期せず令和4年1月から12月までの間で家計が急変）

乳幼児に対する
新型コロナウイルス接
種事業

事業費

42万円

○主な内容

乳幼児（生後6ヶ月から4歳）に対する新型コロナウイルスワクチンの初回接種に要する費用。接種は合計3回で、2回目は1回目から3週間後、3回目は2回目から8週間後接種可能。対象者は44名。

北塩原村きずな応援事業

事業費2, 147万円

○主な内容

農業・観光、商工業が、新型コロナウイルス感染症や長期化するエネルギー・食料等の物価高騰の影響を受けているため、支援を行う。また、同じく影響を受けている村外に住む北塩原村出身の学生に対し支援を行う。

①事業者支援

1, 506万円

村内の大型ホテル、観光協会加盟施設（法人・個人）、その他村内商工観光事業者に対し支援を行う。

②農業支援

593万円

村内の農業従事者に対し支援を行う。

③学生支援

48万円

学生に対し、村産の農産物や特産品等を年度内に2回発送予定。

裏磐梯高原無料
シャトルバスについて

○主な内容

令和4年7月9日より、



森のくまさんバス

五色沼バス停から磐梯高原駅バス停間で運行された「森のくまさんバス」。観光客の利便性向上を目的とし、無料で運行を開始したが、東北運輸局から、独占禁止法「不当廉売」に該当する可能性があることが報告され、7月16日に運行が中止された。

所管する公正取引委員会に確認を行ったが、該当するとのことであり、運行方法など検討を行っていたが、現状では再開は困難という判断が村から報告された。

第9回 定例会

あらまし

令和4年第9回定例会が12月9日から14日まで6日間の会期で行われました。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由および説明、1件の行政報告が行われました。4日目から5日目にかけて、議員9名の一般質問が行われ村政を質しました。6日目は各常任委員会が行われた後、追加議案6件を含む17の議案について審議し可決、人事案件3件について同意しました。その後、議会広報調査特別委員会より所管事務調査の報告が行われました。



議案第54号

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

福島県人事委員会勧告に基づき、初任給や若手層の給料月額を引き上げる給料表の改定と、期末・勤勉手当の支給割合をそれぞれ0.05月引き上げる改正を行うもの。

主な質疑

【問】佐藤 善博 議員

改正する条例の中で、村長が定める内容とはどのようなことか伺う。

【答】総務企画課長

内払いの差額の支払い日などを定めるものです。

議案第55号

北塩原村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

地方公務員の定年について、国家公務員同様に65歳に引き上げられることをふまえ所要の改正を行うもの。

定年を段階的に引き上げ、令和十二年度までに定年六十五歳とすること、役職定年制を導入し、管理監督職員は、六十歳の翌年度には、管理監督職から降任となること、定年前再任用短時間勤務制度を導入することなど。

議案第56号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

令和五年四月一日の改正法の施行に伴い、関係する条例十本について一括して改正するもの。



役場本庁

議案第57号

北塩原村税条例等の一部を改正する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

地方税法等の一部を改正する法律の公布及び施行に伴い改正するもので、住宅借入金等特別控除の適用期限の延長と入居期限の延長、個人住民税控除限度額の改正、納税証明書等におけるDV（ドメスティックバイオレンス）被害者等の、住所に代わる事項の記載などについて改正を行うもの。

主な質疑

【問】佐藤 善博 議員

DV被害者の認定は誰が決定し、だれの指示で記載を行うのか。

【答】税務課長

DV被害者の認定は警察署等の認定によって記載することになっております。

【問】佐藤 善博 議員

記載された内容は、課長、班長など、どの程度まで見ることが出来るのか。

【答】住民課長

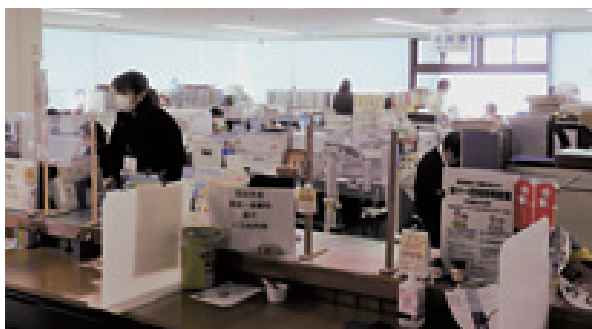
住民票に支援措置者という形で登録し、より慎重に取り扱うようになります。管理者は、課長、担当班長及び担当者となります。情報は法令に基づき使われる事もありますが、他の者が閲覧できない様に管理します。

【問】佐藤 善博 議員

個人情報閲覧できる人が多くはないか。危機感をもって管理しなければいけないのではないかと考えているのか伺う。

【答】村 長

DV被害者の住所がわかってしまうという事は、人命にも関わることでですので、慎重に慎重をきたして取り扱いたいと思います。また、課内におけるルールの徹底を図ってまいります。



住民課窓口

議案第58号

北塩原村一般会計補正予算（第8号）
補正額
1億5,190万円

議決 全会一致で可決

○主な内容

- ・公共土木施設災害復旧事業費（実施設計費 11ヶ所、工事費 村道大塩・松原線、村道柳沢線、長井川2ヶ所）
- ・農業用施設災害復旧事業費（大久保地区2ヶ所、早稲沢地区1ヶ所）
- ・農地災害復旧事業費（大久保地区2ヶ所、大塩地区1ヶ所）
- ・福島県人事委員会勧告内容実施経費（職員の給与等に係る費用）
- ・電気料金引き上げに伴う施設維持・運営経費
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金
- ・学校保健特別対策事業費
- ・令和3年度実績額確定に伴う補助金返還金

【問】遠藤 祐一 議員

村議会議員の一般選挙費について補正予算が出ているが、内容を伺う。

【答】総務企画課長

来年（令和5年）3月に選挙の説明会を開催します。また、選挙管理委員会を開催し、選挙期日の決定を行うため等の人件費になります。

【問】遠藤 祐一 議員

今まで補正予算でそのような費用は無かったと思うが、今回の選挙は特別な変更があるのか。

【答】総務企画課長

今回の選挙は公費選挙が導入される関係で、その準備のための人件費等を計上させていただいたものです。

人事案件

議案第65号

教育委員の任命について

穴澤 智恵子氏

（松原・再任）

議決

全会一致で同意

議案第66号・67号

固定資産評価審査委員会委員の選任について
小椋 敏廣氏
（早稲沢・再任）
樟山 裕康氏
（北山・再任）

議決

全会一致で同意



投票箱

議案第68号

議会議員の議員報酬、
期末手当及び費用弁償
に関する条例の一部を
改正する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

福島県人事委員会の勧
告に基づく改正で、期末
手当の支給割合を0.0
5月引き上げる改正を行
うもの。

議案第69号

村長等の給与及び旅費
に関する条例の一部を
改正する条例

議決 全会一致で可決

○主な内容

福島県人事委員会の勧
告に基づく改正で、議会
議員同様、期末手当の支
給割合を0.05月引き
上げる改正を行うもの。

議案第70号

北塩原村一般会計補正
予算（第9号）
補正額
24万1千円

議決 全会一致で可決

○主な内容

議案第68号及び、議案第
69号に係る予算の補正。

・議会議員分

13万7千円

・村長副村長分

7万3千円

・教育長分

3万1千円



第9回定例会 会議に付した議案と審議結果

※採決は議長を除く

議案番号	件 名	議 決	
		賛成(同意)	反 対
議案第54号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	9	0
議案第55号	北塩原村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	9	0
議案第56号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	9	0
議案第57号	北塩原村税条例等の一部を改正する条例	9	0
議案第58号	令和4年度北塩原村一般会計補正予算（第8号）	9	0
議案第59号	令和4年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）	9	0
議案第60号	令和4年度北塩原村簡易水道事業費特別会計補正予算（第1号）	9	0
議案第61号	令和4年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計補正予算（第1号）	9	0
議案第62号	令和4年度北塩原村簡易排水施設事業特別会計補正予算（第2号）	9	0
議案第63号	令和4年度北塩原村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	9	0
議案第64号	令和4年度北塩原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9	0
議案第65号	教育委員会委員の任命について	9	0
議案第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	9	0
議案第67号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	9	0
議案第68号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	9	0
議案第69号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	9	0
議案第70号	令和4年度北塩原村一般会計補正予算（第9号）	9	0

【議会傍聴のすすめ】

傍聴席のご案内

議場の傍聴席は全部で25席です。原則として先着順となっており、事前予約等はできませんが大人数で傍聴に来られる場合には、混雑状況を把握するために事前に議会事務局へご連絡頂ければ幸いです。

25名を超えた場合、また、新型コロナウイルス予防の観点から傍聴席を減らす措置が取られた場合には、役場本庁コミュニティセンターロビーにあるテレビ、または裏磐梯合同庁舎にあるテレビにて視聴が可能です。

議会傍聴注意事項

1. 議会を傍聴しようとする方は、名簿に記載願います
2. 傍聴席では、帽子、コート、マフラー等はお脱ぎ下さい
3. 傍聴者は、議場に入ることはできません
4. 傍聴席での飲食、喫煙、私語、拍手等は禁じられています
5. 議場での言論に対して、公然と可否を表明したり、談論やその他騒ぎ立てたりしないでください
6. 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにするとともに、議会中は操作しないようにして下さい
7. 議会の撮影、録音等は許可を得た場合以外は禁止します
8. 児童及び乳幼児は傍聴席に入れません
9. その他、議会の妨害等となる場合は、退場を命じます
10. 原則として、会議中の入退室を禁止します
11. 傍聴人はすべて議長または、係員の指示に従ってください

コロナ 対策として

1. 熱がある等体調がすぐれない場合は傍聴をお控えください
2. 入退室時は必ず手指消毒を行ってください
3. マスクは必ず着用してください



議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 3月3日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：（23）3263 FAX：（25）7358

HPアドレス：<https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>



1 遠藤祐一議員	9
○令和5年度予算編成について	
○公有地利活用について	
2 伊藤敏英議員	10
○村の公共施設の維持管理と公共施設等総合管理計画について	
3 伊関明子議員	11
○遠藤村政の2年間の検証と今後について	
○村における防災・減災の状況と今後について	
4 佐藤善博議員	12
○村税と特別会計の徴収状況について	
5 五十嵐正典議員	13
○コミュニティバスについて	
○柏木城跡について	
6 若林幸子議員	14
○村内の学校教育の現状について	
○デマンド交通の導入について	
7 酒井利美議員	15
○村道の管理及び村駐車場の有料化について	
○村施設の管理について	
8 池田睦宏議員	16
○指定管理委託先を含む公共施設の管理運営について	
○役場職員の職務の在り方について	
9 小椋元議員	17
○ラビスパ裏磐梯の今後について	

ズバリ!!

村政を質す!!

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質すこと、報告や説明を求めることをいいます。

遠藤 祐一 議員

8月豪雨災害、復旧費用等
について説明を求める

問 今年度は、自然災害、物価高騰等により繰越事業が通年より多く発生すると思われるが、次年度の災害復旧事業の見通しを伺う。

答（村 長）

村道及び長井川の復旧工事は、事業繰越し、次年度内の完了を目指します。大早稲沢川などの6ヶ所は、令和5年度当初予算に計上し、2ヶ年度施工となる見通しです。農地等の災害も事業繰越しし、令和5年度早期の工事完了を目指します。

北山地区の住宅、道路整備
は今後進めるのか

問 北山地区の住宅用地及び道路新設の件で、今後の計画並びに予算化について伺う。

答（村 長）

村西地区の計画は事業を中止しました。また、寺ノ前地区等の住宅用地は、住宅地として活用できる方法を引き続き検討してまいります。



取得した住宅用地（寺ノ前地区）

問 この用地買収、このままの状態でも意思表示をしなくてよいのか。議決したのだから議会軽視と取られてもおかしくない。令和5年度に意思表示はできないのか伺う。

答（村 長）

民間事業者の力を借りるなども視野に入れながら、協議を進めています。方針が見えてきましたら、皆様に報告、ご協議を申し上げたいと思います。

桧原歴史館の借地料及び指定
管理料の是正、大府平原地区
の村有地の処分を考えよ！

問 桧原歴史館の入館料が指定管理先の収入になっていて、指定管理先に年220万円も委託料を払いながら、施設の借地代も村で負担しているのはおかしいのではないか。今すぐ見直すべきであるが考えを伺う。

答（村 長）

そういった収入など差し引いて、今回は契約をしたという経緯であります。5年間の契約以降そうした点も加味しながら、

当該団体と協議は必要かと思えます。

問 大字桧原字大府平原地区にある村有地71㎡について、以前も質問をしたが、早急に処分すべきではないのか、考えを伺う。

答（総務企画課長）

隣接する施設の事業者に、平成20年に確認しましたが、年数も経過しているため、改めて意向を確認したいと思います。



北山地区区長会要望

伊藤 敏 英 議員



公共施設等総合管理計画に沿った施設管理、運営を早急に実施すべき

問 大塩地区のグリーンセンターと桧原湖セミナーハウスの今後の活用について伺う。

答（総務企画課長）

公共施設等総合管理計画では、グリーンセンターは老朽化が激しいために解体を検討、セミナーハウスについては、校舎部分は譲渡等を、体育館などは類似集約していくという方針です。

問 グリーンセンターは早急に解体すべきである。また、車庫をつくって、除雪車など入れておけば、除雪車の耐久性など違うと思うが考えを伺う。

答（村 長）

解体の場合、アスベストの関係も非常に高くつくというところとがあり、車庫をつくることとなると、新たな財政負担が出てくるので、改めて先を見据えた中で検討、協議を行いたいと考えております。

問 セミナーハウスは桧原地区の活性化のためにはなくてはならない施設である。温泉が引き込まれていることが最大の強みである。それを生かしもっと真剣に、具体的に行動すべきである。考えを伺う。

答（村 長）

建物の優位性があると思いますので、有効に活用してもらえ、そうした誘致を積極的に図ってまいります。

問 公共施設等総合管理計画について、損傷や不具合が生じてから対応する事後保全型から、計画的な予防保全型に切り替えることと明記してあるのに、なぜ計画どおりやらないのか伺う。

答（総務企画課長）

村には101の施設があり、毎年修繕する予算が確保できていない状況です。優先順位をつけ取り組んでまいります。

問 北山地区区長会の要望で、松陽台の集会所の屋根塗装が要望されていたが、新築から20年まだ1回の塗装もされていない。計画では事後保全型から、計画的な予防保全型に切り替えると明記しているのになぜ計画どおりやらないのか理由を伺う。

答（総務企画課長）

毎年修繕する予算が確保できていない状況です。優先順位を



旧明大セミナーハウス

つけ取り組んでまいりたいと思います。

問 老朽化率が100%を超える施設のうち、消防団のポンプ庫屯所のおよそ半分が老朽化した施設である。計画的に整備すべきだと思うが考えを伺う。

答（住民課長）

今後具体的な改修計画を立てていくということで消防団とも共有したところです。これから計画を定めたいと考えております。



大塩地区区長会要望

遠藤村政のこの二年間の実績を問う

問 遠藤村政の2年間の検証と今後について、この2年で実行できたこと、遅れていることに對し、議会との関わりはどうであったか伺う。

答（村 長）

2年間で、五色沼東園地事業、裏磐梯地区住宅整備事業、ワーケーションの推進とWiFi環境整備、学校給食費無償化などであり、議会の皆様のご理解の下、村民の安全・安心な暮らしのための施策を進めることができました。

問 本村の実質公債比率14.3%について、2年間、村長に就きどのような感想か伺う。

答（村 長）

新たな事業の展開は必要になってきますので、公債費の償還額より新たな起債の額を少なくしていくと公債費は減っていきますので、そうした中で事業の展開を図っていかざるを得ないというのが現状かと思っています。

防災課の設置、専任の防災担当職員を配置すべきである

問 防災課の設立は必要であるが考えを伺う。また、有事の際に村民一人一人が速やかに行動できるよう、村民や各組織との連携を明確にするべきだと思ふが、村の考えを伺う。

答（村 長）

防災課設置については、現状の組織体制により、村づくりを進めていく考えでありますので、すぐに行政組織を見直す考えはございません。防災・減災は、村民一人一人が理解を深め、日頃から顔の見える関係を構築し



防災訓練の様子

ていくなどの取組が必要です。

問 噴火の想定の場合、村からの情報提供など今の状態で大丈夫なのか。

答（住民課長）

複数の体制を持っており、1つはサイレンです。あと、防災無線の整備が終わったところです。また、民間企業の通信会社のように連携しました一斉配信のメールがあります。

松原地区区長会要望



問 学校関係の避難について、裏磐梯小中学校では、教員の車で早稲沢の生活改善センターへ避難することだが、寝具などの資材は整備されているのか。

答（住民課長）

寝具等まで備えてはおりませんが、行政区である程度主体的に活動してもらおうよう防災マップの見直しをかけたところです。足りないものは村から支給していきます。

伊関明子議員



佐藤 善博 議員



徴収を強化し、滞納繰越の削減に力を入れるべきである

問 固定資産税について、令和3年度の決算では約1億6千万円の滞納繰越があつて、令和4年度の予算では2千万円の収入（徴収）を見込んでいるとなっているが、差額の1億4千万円についてどう説明し責任を取るのか伺う。

答（村 長）

その1億4千万円というのは、非常に回収が困難な金額なので、今後、法的整理も含めた形で進めていくべきかと考えております。



税務課窓口

問 いわゆる未収金分、負債があることによって村民へのサービスは低下していないのか。当初計画していた事業を縮小しているのか伺う。

答（村 長）

徴収は徴収として進めております。住民サービスやあるいは行政、やらなくてはならないものはやるという中で、一方でそうした滞納の回収や徴収をしているということでもあります。

問 徴収するから村の財源になり、地方交付税とプラスして村民にサービスを提供できるのではないか伺う。

答（村 長）

当初予算で事業展開を考えていくなかで、財源は大事なことであります。そうしたことを鑑みながら実施しているという状況です。

問 お金がなかったら事業は出来ないのではないか。当初予算に対して事業縮小っていうのはあり得ないのか再度伺う。

答（税務課長）

当初予算につきましては、徴収可能な額を見積りさせていただいておりますので、まずその予算額をクリアすることが徴収の1つの目標です。さらなる徴収を進め、滞納解消に向けて実施していきます。

問 徴収率が上がらないというのは、計画に綿密性、あるいは長期的な計画がされていないのではないか。今後の徴収計画はどのように考えているのか伺う。

答（税務課長）

今後の計画として、固定資産税関係の未納分につきまして、ほぼ全て見直し、過去の状況確認が終わった段階です。その結果に基づき税収が上がるよう調査を進めております。法人等については、登記簿の調査も進めており、来年度以降、土地の公売を出来るよう準備を進めています。



裏磐梯地区区長会要望

五十嵐 正 典 議員



デマンド交通の導入と乗り継ぎのない交通政策の実施をすべきである

問 コミュニティバスについて、川前から関柴まで行くバスの、直近の乗降者数を伺う。また、免許証を返納した高齢者の方々のバス利用状況について併せて伺う。

答（住民課長）

11月は9日間運行し、往復で延べ13人でした。10月は8日間運行で延べ22人乗車しました。村では免許証返納者の情報は持ち合わせておりませんので返納者のバスの利用状況については把握していません。



コミュニティバス

問 11月19日には福島市で高齢者の運転による事故が発生した。新聞では、車が無くとも不自由を感じさせないサポートが必要だとあった。これに関してどう考えているのか伺う。

答（村 長）

コミュニティバスを路線バスにつなげることで、手だてを講じたものと考えていますが、いろいろな視点から考えることも必要と思っております。

問 村内全体でコミュニティバスの経費は年間どのくらいかかっているのか伺う。

答（総務企画課長）

概算の金額ですが、北山・大塩地区のバスに年間120万円、小野川地区、それから松原、金山、早稲沢地区については年間1,000万円です。あと、松原から剣ヶ峯までのマイクロバスはおおよそ2,000万円程度かと思えます。

問 免許返納の特典として、タクシードライバーを何万円分出すとか、そういうことも一つあるのではないかと考えを伺う。

答（住民課長）

タクシードライバーを贈呈するという考え方の部分については、村としては、生活路線バスの無料化を実施しています。

柏木城跡・国指定文化財の周知と活用促進を進めよ

問 柏木城跡について、懸案事項であった本庁舎への横断幕の設置はどうなっているか伺う。また、保存計画を策定する検討委員会の進捗状況を伺う。

村PTA連絡協議会要望



答（公民館長）

横断幕は、役場本庁舎正面の入り口の上に、柏木城跡国指定の史跡を祝う懸垂幕を設置しました。検討委員会の進捗状況ですが、保存計画策定に向け、文化庁や県文化財課と協議を進めています。

若林幸子議員



児童数減少について危機感をもって対策を

問 令和4年4月19日に実施された全国学力テストの結果及び内容について伺う。また、個々の能力や適性に応じた指導の強化をどのように努めているのか伺う。さらに、村内の小・中学校の現状の児童数について、村としてどのように考えているのか伺う。

答（教育長）

小学校6年生と中学3年生で3教科が実施されました。小学校は3教科とも全国平均正答率を下回りました。中学校は、2教科については全国平均正答率を上回り、1教科は県平均を大きく上回りましたが、全国平均

正答率とほぼ同じでした。指導の強化については、個々に弱点を克服し、よい点は伸ばせるよう、手厚く指導しております。また、保護者等を交えて学習方法等を話し合っております。児童生徒数は、5年後の令和9年度には106人になる見込みです。小規模校の特性を生かした学校教育を推進していくことが大切であると考えております。

問 児童数の減少について、どう考えているのか伺う。

答（村長）

非常に危惧すべきことであり、村では、住宅の整備を裏磐梯から進めている状況であり、そうした環境整備がまずは大事と考えております。



裏磐梯小学校

デマンド交通導入で免許返納者に安心を

問 免許返納した後の生活の足の確保が不安で、免許返納の決断をすることができない村民もいる。交通の環境整備が必要と思うが考えを伺う。

答（総務企画課長）

北塩原村地域公共交通網形成計画では3つ方式が示されており、1つ目の定時定路線型は路線バスとの接続が設定できると考えますが、残り2つの区域運行型、迂回運行型については、村の地理的特性から、運行ルートを数多く設定する必要があり、導入は困難と考えます。

問 高齢者免許返納のために、交通事故を起こさせないためにも自治体独自の手厚い対策を行うべきである。デマンド交通・デマンドタクシーの導入について、導入・実証実験など早急に実施すべきだと思うが、いつまでに実施する考えか再度伺う。

答（村長）

まず調査をしなければ、予算立てなども非常に難しい課題だと思います。上半期の中で検討、協議をしながら、下半期にスケジュールを立てながら検討してまいりたいと考えます。



裏磐梯観光協会要望

酒井利美議員

側溝や歩道の整備を早急に
進めるべき！

問 曽原地区のU字溝について、根本的な側溝の整備が必要であると思うが、今後の側溝の整備計画を伺う。また、村道曽原狐鷹森線の歩道が途中で切れている箇所は、カーブで非常に見通しが悪く早急な歩道整備が必要であると思われるが、今後の歩道整備について伺う。

答（建設課長）

村では昨年度、旧モト・コーヒー前に暗渠の敷設工事を実施しましたが、今年の8月の大雨で側溝があふれた状況です。再度対策を検討します。また、歩道整備については、予定箇所が二重で登記がされていることに

より、用地が買収できない状況です。問題解決に向け進めていきたいと考えております。

問 村駐車場の有料化に向けた工事の進捗状況と、桧原湖周辺、五色沼東園地などの村所有地の駐車場の今後の利用計画を伺う。

答（商工観光課長）

工事の進捗につきましては、環境省との協議が進まないことから実施しておりません。裏磐梯の駐車場事業における基本構想を作成できる業者に対し、経費等について確認をしているという状況です。



曽原地区の床下浸水

村の施設を有効活用し住民の
利用しやすい施設にすべき

問 裏磐梯自然環境活用センターは断熱化されておらず、冬期間は快適に利用できるとは言えない状況である。今後の整備について伺う。

答（商工観光課長）

現状では、利用者から要望や苦情等がないことから、整備については今のところ予定はしておりません。

問 小学校や中学校でのパソコン室が利用されなくなったと聞いたが、活用方法について伺う。

答（教育課長）

各学校では児童生徒の生活環境の充実を図る空間として活用しています。また、地域住民の学習活動や地域交流活動の場としての活用も検討しており、教育委員会でも支援してまいります。

北塩原村商工会要望



問 裏磐梯小学校の屋根の漏水対策の進捗状況を伺う。

答（教育課長）

9月定例会終了後から確認を行っており、台風などもありましたが漏水は確認出来ていません。今後も引き続き確認を行います。

池田 睦 宏 議員

指定管理委託契約の適正化
を行うべき

問 村が指定管理を任せしているラビスパ裏磐梯や桧原歴史館などの運営状況について、村の見解を伺う。

答（村 長）

ラビスパ裏磐梯の運営状況につきましては、タイヤボイラーを今年2台更新し、10月から稼働しています。プールゾーンについては、大規模改修のための基本設計を実施中です。桧原歴史館は、令和3年度から指定管理委託料を見直し、展示施設の管理とトイレ等の清掃業務に係る経費を積算しています。

問 原油価格の高騰によって、ラビスパの経営、光熱費の負担がどうなっているのか、それに対してどのような対処をしているのか伺う。

答（総務企画課長）

今回の補正予算にラビスパの電気代の高騰分、300万円を計上させていただいております。タイヤボイラー2台を新しく更新し、出力も大きいものなので、これから徐々に重油代の節減効果が現れてくると思います。

問 桧原歴史館のラーメンの飲食店部分の売上げ、営業はどういった実績があったのか。

答（商工観光課長）

令和元年度が2,230万円、令和2年度が2,460万円、令和3年度が2,940万円という数字が上がっております。



桧原歴史館

問 指定管理業務以外の売り上げがあるのであれば、賃料またはそれに準ずる支払いを求めるべきではないか。

答（村 長）

見直すことは、十分考えられることだと思います。

問 現在、セミナーハウスの敷地や建物の中に、ある事業所の事業用の備品が大量に置いてあるようだが、その事実の把握をしているのか伺う。

答（総務企画課長）

体育館のちょうど地下1階部分に物が置いてあるということ は承知しております。

問 ここは避難をするための場所なのだから、災害時にきちんとした対応ができないのではないか。きちんとした避難活動ができる状態にするのが村の責任だと思いが考えを伺う。

答（総務企画課長）

改めまして早急に現地を確認し、どういった経過で、どなたが置いているのか、そういったこ

とについて地元の方にお聞きしたいと思います。

役場職員の勤務状況の把握
をしっかりと行っていくべき

問 職員が役場の敷地の外の茂みでの喫煙を目にする。吸う人と吸わない人で仕事の量に差が出ると思うが、適正な評価ができてくるのか伺う。

答（村 長）

喫煙が仕事に支障を来すのであれば、是正の指示も必要かと思っています。

議 場 見 学

裏磐梯中学校

令和4年12月19日、裏磐梯中学校3年生が社会科（公民）学習の一環として北塩原村議会の見学に来庁しました。

生徒たちは議場を見学し、事務局より実際の議会の様子などの説明を受けたり、議会が行われる時期や今年度議会で話し合われた村の課題について質問を行いました。

見学を機に、村政に興味を持ち、村の力となってくれることを期待します。

小 椋 元 議員



村民の負担となっている施設を止めるべき

問 2019年にラビスパ裏磐梯の大規模修繕・改修全体計画が出された。この計画はいつから始めるのか考えを伺う。

答（村 長）

今年度、基本設計を実施しております。次の段階として、実施設計、それから工事実施というふうに進んでまいります。

問 ラビスパ事業はオープンから25年以上経過している。これまでどれだけの修繕費用がかかったのか伺う。

答（村 長）

平成7年度から令和3年度まで約2億5,600万円です。

問 プールはどうして休んでいるのか。

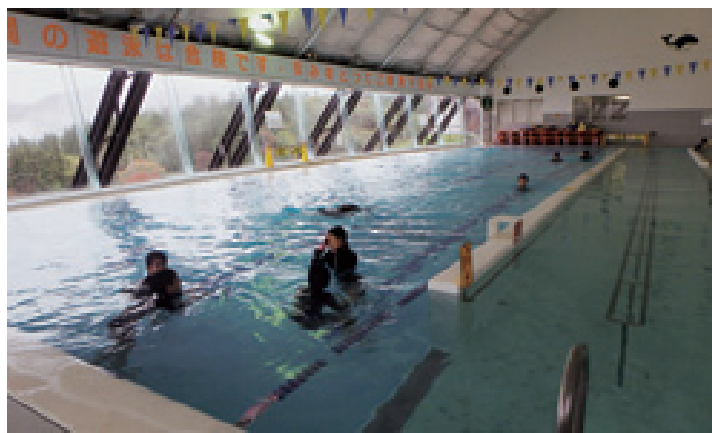
答（総務企画課長）

内部の内膜を支えている部品が落下する可能性があるのと、鉄骨自体が劣化しているため営業を休止しています。

問 早急に改修しなければいけないのではないのか。2019年に出された改修計画では14億3,200万円との事だがこれはどうとらえればいいのか伺う。

答（総務企画課長）

令和元年度にラビスパ自体の個別の施設計画を策定しておりました。中間報告として、村の長寿命化の方針に基づき、概算での報告をさせていただいたものです。



ラビスパ裏磐梯

問 こういうものは修理が必要になる。(株)ラビスパには委託料2,342万円、その他に多額のお金を払っている。修繕が必要なら、入館料やそのお金から出すのが普通だと思うが、考えを伺う。

答（総務企画課長）

株式会社ラビスパに委託しているのは1年間の運営についての委託料です。施設自体は村の施設なので、村が修繕を行うということです。

問 どこまで赤字財政になるのかわからない状態で、また同じことの繰り返しではないのか。今来ているお客様の10倍くらい来ないと間に合わない。そういうことも考えて、誘客出来るのか。どうやって改善していくか伺う。

答（総務企画課長）

運営については、株式会社ラビスパに任せています。運営の中で経営が改善するように努力していただきたいと思います。



裏磐梯中学校3年生のみなさん



議会について熱心に説明を聞く



玄葉光一郎衆議院議員



小熊慎司衆議院議員

福島県町村議会議長会の小
椋眞会長が11月8日、翌日に
開かれる全国町村議会議長大
会に提出される事項及び令和
5年度税制改正について、福
島県選出の国会議員に対し要
望活動を実施しました。

福島県町村議会議長会 要望活動



岩淵友衆議院議員



金子恵美衆議院議員



菅家一郎衆議院議員



小椋会長の挨拶



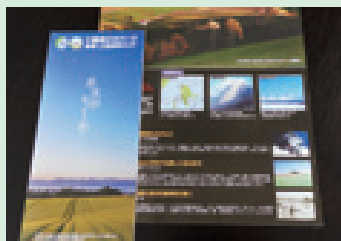
研修を受ける議員



会場のビッグパレットふくしま

令和4年10月24日、ビッグパレットふくしま（郡山市）で、福島県町村議会議長会主催の議員研修会が実施されました。
研修では、小椋眞県町村議会議長会会長より挨拶があり、その後2名の講師より講演がありました。講演では、現在の政治情勢について解説もあり、地方議会を取り巻く環境について一生懸命講演を聴講しました。

県町村議会議員研修会



北海道の雄大な自然が魅力



昆沙門沼視察の様子



小椋議長より歓迎の挨拶

北海道上富良野町議会

総務産建常任委員会

行政視察

～十勝岳ジオパーク～

「丘と火山がおりなす彩り」北海道のほぼ中央、ダイナミックな火山の景観である十勝岳連峰と、どこまでもつづく丘、のどかな田園風景を併せ持つ十勝岳ジオパーク。北海道ならではのスケールの大きな自然が魅力のジオパークです。

令和4年11月17日、北海道上富良野町議会の総務産建常任委員会ならびに村上和子議長が本村へ、ジオパークについての行政視察に来村しました。
上富良野町は「十勝岳ジオパーク」を構成する町で、令和4年1月に認定を受けた地域です。本村と特徴が非常に似た町で、磐梯山ジオパークの取り組みを熱心に聞き、再認定への参考にしたいとのことでした。

議会広報調査特別委員会

先進地視察〈群馬県玉村町議会

令和4年10月13日、議会広報調査特別委員会は群馬県玉村町議会を視察訪問しました。玉村町議会は、平成29・30年度に議会広報コンクールで優良賞を受賞するなど議会広報制作に力を入れ、町民に読みやすく、わかりやすい紙面を目指し努力し、各委員が活発に編集活動を行っていました。

北塩原村議会広報「議会だより」も本視察を参考に皆様に読みやすく親しまれる広報を目指してまいります。



玉村町議会議場にて



説明を受ける広報委員

会津耶麻町村議会議員研修会



小椋会長挨拶



講師 吾妻 邦博 専門員



研修の様子

令和4年10月7日、アクティブリゾーツ裏磐梯にて、会津耶麻町村議会議長会議員研修会が開催されました。

講師に県町村議会議長会専門員 吾妻 邦博氏をお迎えし、町村議会の現況と課題について講演いただきました。終了後は、裏磐梯を代表する施設の一つ、諸橋近代美術館を視察しました。

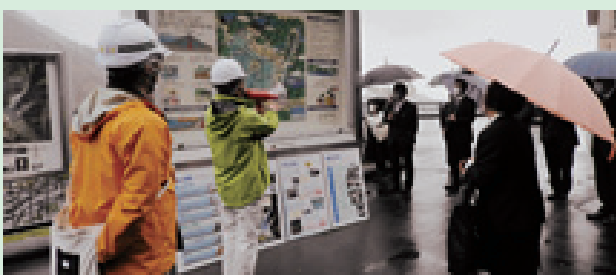
3市町村議会議員研修会

令和4年11月4日、喜多方市熱塩加納会館にて、喜多方地方広域組合に所属する3市町村の議員合同での研修会が行われました。

講師は国土交通省東北地方整備局の総括調整防災官 佐藤徳男氏で、地域防災の連携について学びました。また、研修後には日中ダムを視察し、ダム防災におけるダム管理の重要性について説明を受けました。



喜多方市熱塩加納会館にて



日中ダムを見学

北塩原村議会議員 議員活動日数

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
令和4年	酒井 議員	池田 議員	伊関 議員	伊藤 議員	遠藤 議員	小椋元 議員	五十嵐 議員	佐藤 議員	若林 副議長	小椋眞 議長
1月	4	6	3	8	7	1	4	7	6	20
2月	2	4	2	4	5	3	6	5	6	22
3月	6	9	6	8	10	5	7	10	8	19
4月	3	5	3	6	9	3	4	6	4	20
5月	6	1	1	3	0	0	2	7	2	27
6月	9	11	10	14	14	10	10	11	14	29
7月	1	2	0	4	6	1	1	6	5	21
8月	2	2	2	8	8	1	5	10	6	20
9月	6	6	6	9	9	7	10	8	7	22
10月	2	6	2	7	13	2	3	4	6	24
11月	6	6	6	9	6	5	10	6	7	27
12月	4	4	4	5	9	5	6	7	5	19
合 計	51	62	45	85	96	43	68	87	76	270

この集計は令和4年1月1日から12月末日までの期間、議会事務局で確認した議員の登庁回数の回数を集計したものです。



通常点検の様子

今月の表紙 消防団出初め式

令和5年1月6日、晴天の下、北塩原村消防団の出初め式が開催されました。式典では今年一年が災害の無い年であるよう参加者全員で祈念しました。参加した団員は勇ましく、有事の際は村の大きな力となってくれることを期待しています。

編集責任者

議長 小椋 眞

編集委員

委員長 伊藤 敏英

副委員長 若林 幸子

委員 遠藤 祐一

委員 池田 睦宏

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
今年は早い時期からの降雪となり慌しい年末となりましたが、よいお正月を迎えられましたでしょうか。
今年は兎年です。村民の皆様が、うさぎのように躍進する年でありますようご祈念申し上げます。
議会広報もみなさまにより親しまれるよう編集を行っていきたいと思いますので引き続きご愛読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

委員一同